AsiaNet 96080 （1156）

TAICCAが没入型コンテンツクリエーター向けの公募を開始

【台北2022年5月19日PR Newswire＝共同通信JBN】台湾文化内容策進院（Taiwan Creative Content Agency、TAICCA）は、クリエーティブコンテンツを中核に置き、テクノロジーを使用し、台湾チームと国際チームによる共同出資または共同制作を行う没入型コンテンツの物語を提供するプロジェクトを募集している。選出された各プロジェクトは、最大12万米ドル（350万台湾ドル）を獲得する。

メタバースは、われわれの生活、仕事、旅行、コミュニケーションの方法を根本的に変えるだろう。人々はデジタル体験の新時代を生きることになる。間違いなく、クリエーティブコンテンツもメタバースで大きな役割を果たす。関連するステークホルダーが台湾の技術革新の創造性とエネルギーを発見し、没入型コンテンツの新しいメディアと新しい形式のストーリーテリングを探求するよう促すために、TAICCA Immersive Content Grant （TAICCA没入型コンテンツ助成金）は、未来のコンテンツプロジェクト―没入型体験の共同出資または共同制作をサポートしている。

台湾は、革新的な専門家、全国的なブロードバンドインターネットのインフラストラクチャー、世界と密接につながり繁栄している産業を誇る。メタバースエコシステムを構築するには複数の主要業界間の相乗効果が必要だが、最も重要な部分はコンテンツである。過去数年間、台湾のXR（クロスリアリティー）と没入型コンテンツは、グローバルな舞台で優れた実績を実現し続けており、国際的な審査員やフェスティバルで認められてきた。多くの優れた台湾のXR作品が、Tribeca Film Festival（トライベッカ映画祭）、New Images Festival（ニューイメージフェスティバル）、Annecy International Animation Film Festival（アヌシー国際アニメーション映画祭）、Raindance Immersive Award（レインダンス（映画祭）イマーシブ賞）、Cannes XR Award（カンヌ（国際映画祭）XR賞）、SXSW（サウス・バイ・サウスウエスト）およびArs Electronica（アルス・エレクトロニカ）に選ばれた。2021年には、台湾が発表した7作品が、第78回ベネチア国際映画祭にノミネートされた。台湾は、世界でこのエコシステムを開発するために必要なすべてのプレーヤーを見つけられる場所である。

TAICCAは、2022 International Immersive Content Co-Funding and Co-Productions Program（2022年国際的没入型コンテンツ共同出資・共同制作プログラム）を推進し、没入型コンテンツがクリエーティブな反応を構成し、革新的な物語を探求するよう促すためにクリエーターを歓迎する。没入型コンテンツプロジェクトは、インタラクティブ、マルチプレーヤー、拡張現実（AR）、仮想現実（VR）、複合現実（MR）、ハプティック、サウンド、またはロケーションベースで提出することができる。選出された各プロジェクトは最大12万米ドル（350万NTD）を獲得し、公募は2022年6月15日に終了する。

詳細はTAICCA公式ウェブサイトを参照：

https://en.taicca.tw/article/5f18b19f

ソース：Taiwan Creative Content Agency

画像添付リンク：

Link: http://asianetnews.net/view-attachment?attach-id=421578

（画像説明：TAICCAは、クリエーティブコンテンツを中核に置き、テクノロジーを使用し、台湾チームと国際チームによる共同出資または共同制作を行う没入型コンテンツの物語を提供するプロジェクトを募集している。選出された各プロジェクトは、最大12万米ドル（350万台湾ドル）を獲得する）